

一集会アピール

＝イラク戦争検証第三者委員会を早急に設置させ、イラク戦争を支持、加担した日本政府の戦争責任を明らかにし、イラクの人々への謝罪と補償を実現しよう＝

2003年の米国によるイラク攻撃から7年、イラク戦争・占領は100万人以上のイラク市民の命を奪っただけでなく、イラクを腐敗した政権と武装勢力による利権争いの暴力と混乱の社会へと変えてしまった。

オバマ大統領は、8月末イラクでの戦闘任務の終結を宣言したが、米軍・傭兵合わせて12万人とも言われる軍隊が残り、巨大な米軍基地が恒久的に残され、石油の山分けが進められようとしている。全占領軍の完全撤退を一刻も早く実現させなければならない。

世界では戦争を引き起こした政府の責任を問う市民の声が広がっている。2010年、オランダ政府による検証委員会は「イラク戦争は違法であり、当時のオランダ政府のイラク侵攻支持は正当でない」と結論づけ、イギリスでもブレア元首相をはじめ、50人以上の政府関係者が喚問されている。日本においても自衛隊のイラクにおける米軍輸送活動に2008年名古屋高裁で違憲判決が出され、2010年12月2日には国会議員らによって、イラク戦争を支持した政府の判断を検証するための議員連盟が結成された。

今こそイラク戦争を強行し、たくさんの人々の命を奪い、イラクの社会を破壊した責任を追及し、大きく人々の声を集め政府の責任で検証委員会を設置させよう。そして日本を二度と戦争に加担させないようにしよう。

暴力と混乱の続くイラクで非民族主義、政教分離の民主的な政府を作るために闘うイラク自由会議（IFC）への支援と連帯を広げよう。アメリカでイラクからの全占領軍の撤退とイラク市民への謝罪と賠償、帰還兵への生活、医療の保障を求めて闘っている反戦イラク帰還兵の会（IVAW）と連帯しよう。そして戦争と貧困の連鎖を断ち切ろう。IFC・IVAWと連帯し、イラク戦争を引き起こした責任を追及する取り組みを通して、イラクから全占領軍の即時撤退、イラクの人々への謝罪と補償を実現し、戦争を許さない世界をつくろう。

（行動提起）

1. 全国の地方議会に「政庁に検証委員会の設置を求める意見書」を採択させよう。署名行動、議員への要請行動を強めよう。
2. イラク・アフガニスタンへの出撃基地となっている沖縄の米軍基地をなくしていこう。普天間基地の撤去新基地建設を阻止しよう。
3. イラクからの全占領軍の即時撤退を求める声を大きく上げていこう。イラク戦争開戦8周年となる2011年3月にイラク占領終結を求める行動を起こそう。
4. 暴力と混乱の続くイラクで非民族主義、政教分離の民主的な政府を作るために闘うIFCへの支援・連帯を広げよう。
5. ブッシュ前政権の戦争犯罪を訴追するIVAWの運動に連帯し、支援しよう。

2010年12月11・12日

今、声をあげよう！戦争と貧困をなくすため イラク・アメリカの仲間とともに
日本政府にイラク戦争検証委員会設置を求める集い